



医療法人幸生会

琵琶湖中央リハビリテーション病院

Biwako Central Rehabilitation Hospital

- 日本医療機能評価機構・リハビリテーション(回復期)高度・専門機能認定病院
- 日本リハビリテーション医学会認定研修施設

地域とともにつなぎあい
患者とともに歩む医療

病院だより

第171号
2025/4/15

新年度を迎えて

昨年度は、地域の皆さんの温かいご支援とご協力により、当院は回復期リハビリテーションの単科病院として、また、リハビリテーション・デイケアや在宅リハを通じて、多くの患者さんの回復、在宅復帰と健康維持に努めることができました。

深く感謝申し上げます。

今年度も、地域包括ケアシステムのかなめとして、地域に根ざした医療を提供し、皆さんの健康と福祉の向上に貢献できるよう、努力を続けてまいります。

特に今年度は、団塊の世代がすべて後期高齢者となり、日本の医療が新たな転換点を迎える年であります。私どもが果たさねばならない課題はこれまでに比してさらに大きく、高度なものになってくることは間違いありません。このような期待に十分に答えられるよう、職員一丸となって高い質の医療を提供すべく、業務に邁進してまいります。

急性期病院や医師会の先生方との連携をさらに密にし、患者さんの生活機能の速やかな回復を実現し、安全にご自宅で生活いただけるための病院としての認知度の向上を目指します。

地域全体が健康で活力に満ちた生活を送るために、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

病院長 大野 辰治

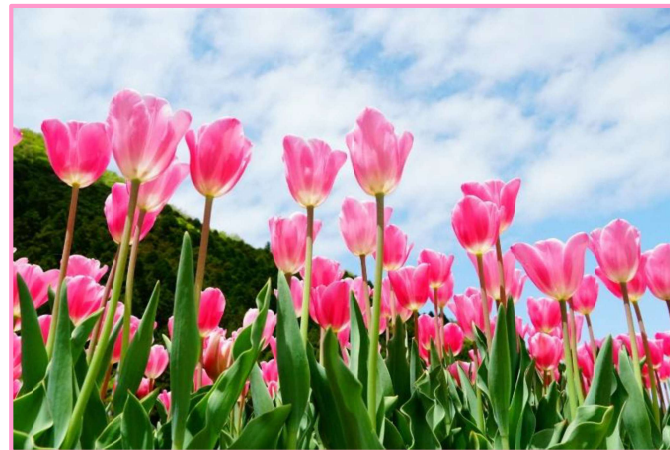


Photo by 川戸 菜緒

☆琵琶中☆ ちいきの芸術家展覧会



アンテロープの
手で作り講座
皆さんから
使ってもらい
で使ってもらい
イコ

1年を振り返って

入職から1年経った若い力の新たな決意を含めたメッセージです。

日頃より地域の皆さんには多大なるご支援を頂き、心より感謝申し上げます。

振り返れば、入職した当初は不安や緊張の中でスタートしましたが、先輩方のサポートや地域の皆さんの温かいお力添えもあり、2年目を迎えることができました。

学生時代は知識を得ていく一方でしたが、就職後は点が線で繋がっていくような経験が多く、日々成長を感じています。

今後も研鑽を重ね、皆さんの生活の力になる様なリハビリテーションができるよう努めてまいります。今後ともよろしく願いいたします。

理学療法士 栗栖琢斗

入職してから早くも1年が経ちました。

入職当初は自分に務まるのか不安でいっぱいでしたが、先輩方の助言や指導に支えられながら、今では患者さんを受け持ち、入退院支援を任されるようになりました。

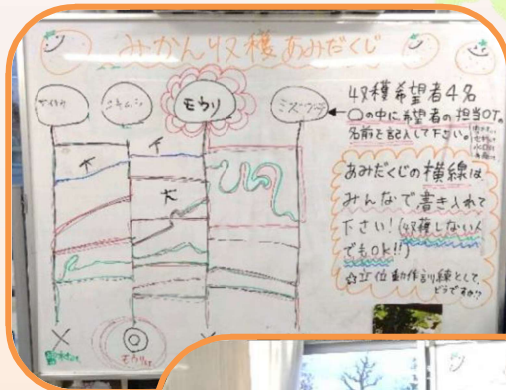
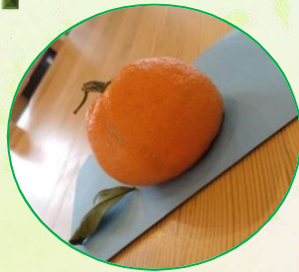
患者さんと関わる時に大切にしていることは、温かい声かけと接し方です。患者さんが辛いときは自分のことのように寄り添い、支えられる存在であろうと心がけています。退院時には、「おかげさまで元気になりました。ありがとう」と笑顔で退院していく姿を見て、とても嬉しくやがいが感じています。また、初めての採血の時は「上手だね。痛くなかったよ」と患者さんから温かい言葉を頂き、今の私の原動力になっています。

まだまだ未熟ではありますが、患者さんやご家族に「この病院に入院して良かった」と感じていただけるような看護を提供できるよう精一杯頑張っていきます。

看護師 畠中柚芽

園芸プロジェクト

★みかん狩り★



当院の屋上園芸で育てているみかんの収穫の様子を紹介させていただきます。

今年は収穫できるみかんが1つしかなく、収穫をしてくださる患者さんを“あみだくじ”で決めることになりました。大きなホワイトボードにあみだくじを書き、多くの患者さんに立位動作訓練の一環を兼ねて、横線の書き込みを手伝っていただきました。



みかんが植えてある場所は不整地（砂利道）の中であり、より高度な立位バランス機能が必要になりますが、あみだくじで収穫のチャンスをつかんだ患者さんは、見事に収穫作業をしてくださいました。今回は、残念ながら1つしか収穫ができませんでしたが、あみだくじに皆で書き込みを行い、皆さんの協力のおかげで収穫ができたと思っております。



今後も、限られた入院生活の中で、少しでも季節を感じることや「楽しい」「嬉しい」と感じて頂けるような活動やリハビリを提供していきたいと思っております。

作業療法士 岡部 尚史



出前講座

お茶の間教室「はつらつサロン」

◎富士見台三区自治会の皆さんと◎

まだまだ寒さが残る3月の某日、富士見台三区自治会の皆さんと「はつらつサロン」を開催させていただきました。

富士見台三区の皆さんとは、医療福祉講座では、複数回お目にかかっているのですが、リハビリセラピスト出向の「はつらつサロン」では2度目の出会いになります。

最初は、お互いに、まだ少し硬い表情でストーブの音だけが聞こえていましたが、日ごろから苦勞している膝・肩・腰の体操に皆さんからの意見や質問が飛び交い、集中していくうちにストーブが暑い、と電源を切ることに。

積極的な皆さんの姿勢に、こちら嬉しく胸が熱くなりました。

これから、春先にかけて花粉が飛び交い体調

を崩される方も増えます。どうしても自宅に引きこもりがちになってしまいますが、少しずつでも気分転換に身体や頭を動かす体操を日常に取り入れていただくとありがたいです。

皆さん、ご参加ありがとうございました。

理学療法士 小西 純平
社会福祉士 上嶋 美由紀



デイケアセンターの作品が掲載されました

「月刊DAY(vol.304) 2025.4月号」に当院デイケアセンターの作品が掲載されました。

昨年の作品ですが、利用者さんとコツコツ作った77×207cmの大作です。書道が得意な利用者さんの「迎春」の文字と躍動感ある竜のシルエットが皆の気持ちを盛り上げてくれました。



【病院理念】

慈(めぐみ)の源“マザーレイク”のように、私たちは地域の皆さまの心と体のよりどころとなるよう努めます。

【基本方針】

1. すべての職種が協働し、生活を支えるリハビリテーションの実践に最善をつくします。
2. 患者の意思を尊重し、科学的根拠と倫理観に基づき、安全と安心の医療を提供します。
3. 医療・介護・福祉連携を推進し、地域包括ケアシステムの推進に貢献します。
4. すべての職種のたゆまぬ研鑽により、質の高いチーム医療をめざします。
5. 人材の育成に努めるとともに、職員が働きがいと充実感の持てる職場づくりをめざします。